

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

| | |
|----------|------------------|
| 園名 | みずほひじり保育園 |
| 活動日時 | 令和 7年 8月 26日 (火) |
| クラス名(年齢) | ぱんだ組 3歳児 |

1. 活動テーマ

<テーマ>

太陽と水の不思議

<テーマの設定理由>

プール遊びや水遊びを通して水が太陽で温まる事を感じる事ができていた。実際に水で遊びながら太陽によって乾くことや光が映し出されることなど広がりを持てるように考えた。

2. 活動スケジュール

・水で手形を押す ・太陽光に気付く ・発見を知らせる

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

透明のケース、鏡、水、カメラ、タオル
晴れの日に行く。

4. 探究活動の実践

<活動内容>

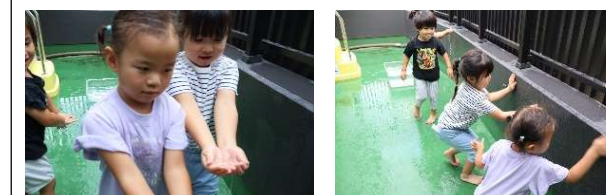
水に触れ手形を押したり、自由に水を使って楽しむ。又、乾いて消える体験をする。友達や保育士と気付いた事を伝え合い楽しむ。鏡を使ってどのように動かすと太陽の光が映るかを考えたり見たり曇ると映らない事を体験する。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

① 「水で遊ぼう」と誘うと、一人が手形を押し始めた。押すたびにたくさん手形ができて喜ぶ。日に当たると乾いて見えなくなり「見えないね」と太陽によって濡れたところが乾く事がわかった。



② 手形を押し始めた友達を見て他の子も真似て遊び始める。手形押しから手を左右に動かし壁に水を塗り始めた。「先生、黒くなったよ」と濡れると色が濃くなることを発見し喜んで知らせていた。



③ 水が入ったケースに鏡を入れて太陽の光が白い紙に映るにはどうしたらいいか試してみる。上下に移動したり傾けたりして試し「あっ見えた」と映る事を発見し楽しんでいった。



④ 白い紙に映っていた光が曇ると消えてしまった。「見えなくなったね。どうして見えなくなったのかな？」の問いかけに「お日様隠れちゃったからかな？」と気づいたことを言葉で伝えていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

透明のケースに水を入れる時に「お手伝いしてくれる？」と誘い掛けると喜んでお手伝いをし、入れている途中に水が顔や手にかかることを友達と一緒に喜んでいた。「お水で遊ぼう」と誘い掛けると手形を一人が押し始めたのを見て真似て遊び始める。手形押しから水を自分で運び壁に塗り始め「黒くなった」と濡れると色が濃くなる体験をしていた。太陽光に目を向け曇ると光が消えてしまう体験もできた。手形から水を塗り始め色の变化に気付いたり乾くと手形が消えるという目に見えた現象と様々な感覚を使って楽しむ姿が見られた。子ども達の感じる心や体験を育んでいきたい。